

高崎市立高崎経済大学附属高等学校 学校評価一覧表② (平成31年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総 合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 高大連携に努めていますか。	① 大学との連携に努めていると感じる生徒が80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ オナークラスを中心に、高崎経済大学等との高大連携事業を実施した。また、出前講座等の実施に当たって、オナークラス以外の生徒に対しても大学等の外部機関との連携の充実を図った。 ○ 中国・香港研修に代えて台湾研修を実施するなど国際交流事業の改善を行った。 ○ 生徒が社会に出て必要とされる資質・能力の向上を目指しながら、興味関心を基にした探究学習を実施した。成果発表会では、ポスターセッションを加え、プレゼンテーション能力の向上を図った。 	高大連携事業は、スーパーグローバルハイスクール指定事業を継承しながら、充実を図っている。ただし、職員と生徒・保護者の評価の差が大きい。今後、生徒・保護者が連携をより強く意識できる取組を期待する。なお、国際理解教育に係るプログラムについて、一部生徒の参加になるのは費用面でやむを得ないとしても、高校3年間を見通した活動を計画的に行うとともに、様々な取組を有機的に行うことにより、個々の連携・交流事業に参加していない生徒にも還元できればよい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体が係わる高大連携事業を充実させるとともに、三年間を見通した、事業全体の系統性を向上させる。合わせて、これまで以上に保護者との連携を図る。 ○ 国際交流事業の見直しをすすめ、時代の変化に合わせた、研修先・研修内容を生徒に提供する。 ○ 育成したい能力・態度と、各種の学習活動との対応関係を整理するとともに、生徒に対しても学習の意図・目標を明確に示し、生徒が自分の成長を実感できるようにする。
	2 国際交流の機会をつくり、国際理解に努めていますか。	② 海外研修や海外の学校との交流など、国際理解の場があると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A			
	3 キャリア教育の充実に努めていますか。	③ 社会に出て役立つ能力・態度が身に付いたと感じている生徒が80%以上である。	A	A	A			
II 安心安全な学校づくりに努めていますか。	4 生徒主体で「いじめ」のない学校づくりを推進していますか。	④ 「いじめ防止基本方針」について、生徒に説明していると認識している生徒が80%以上である。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ防止月間に合わせて、いじめ防止基本方針の周知や標語・ポスターの掲示など生徒主体の取組も紹介するなど、生徒の認識の強化させる取組を行った。 ○ 防災対策として、防火避難訓練の実施、AED取扱方法についての講習会を実施し、職員・生徒の防災意識向上に努めた。 ○ 校内の施設の不備による事故の発生は0件であった。ただし、校舎・体育館・設備の老朽化が進んでいる。 	いじめをなくすためには、教員からの指導だけではなく、生徒自ら「いじめをなくす、いじめをしない」という気持ちを持つことが重要である。今後も生徒の主体性を大切にしながら、いじめの防止、早期発見、組織的な対応に努めてもらいたい。 校舎・体育館・設備の老朽化が進んでいるとのことだが、何らかの機会に改善できるとよい。また、校内施設の状況について情報共有を進めることが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続きいじめ防止基本方針の周知や生徒の主体的ないじめ防止活動に注力する。 ○ 老朽化にともなう校内危険箇所の把握に努め、情報の共有化を進める。 ○ 体育館の床の老朽化による体育の授業・部活動でのケガが心配されるので、その修繕の働きかけをする。
	5 防災対策を職員・生徒に徹底していますか。	⑤ 大地震や火災が発生した際に、全ての職員・生徒が適切な対応をとることができる。	A	A	A			
	6 校内の施設の安全点検に努めていますか。	⑥ 校内施設の不備による事故の発生は0件である。	A	A	A			
III 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	7 工夫して分かりやすい授業を行っていますか。	⑦ 授業に対する、生徒の評価を学期ごとに実施して、授業改善に生かしている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善に向けて、生徒アンケートの見直し、他校視察及び「授業ちら観週間」など、新しい取組を組織的に実施した。 ○ 全校で授業改善に取り組むことにより、多くの生徒が工夫して分かりやすい授業が行われていると回答した。 ○ 発表する場面において指導者が意識的な取組を重ねることにより、多くの生徒が発表の場面で表現力育成を実感した。 ○ 主体的・協働的な学習を取り入れてると感じてる生徒がほとんどであった。 	生徒対象の授業アンケートを全面的に見直しは大変よい。生徒の率直な評価が教員の励みとなるし、授業改善に直接結びつくであろう。 授業改善の結果から、表現力の育成にしっかりと取り組んでいる様子が窺える。今後、新学習指導要領の全面実施に向け、一層の授業改善を図ってほしい。 これからは、これまで以上にアウトプットが大切になる。プレゼンテーション等の指導も一層充実させるとよいのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領の全面実施に向け、職員研修等を充実させ、より深い学びにつなげられる授業の在り方を研究する。 ○ 口頭での発表だけでなく、プレゼンテーション資料の作成に関する指導の充実を図るとともに、教科横断的な学習方法を研究する。 ○ 主体的な課題発見の方法や、協働的な学習を意識したグループ学習の在り方等を引き続き研究していきたい。
	8 発表する場面で、表現力の育成に努めていますか。	⑧ 生徒の80%以上が自分の意見や考えを発表する機会があると感じている。	A	A	A			
	9 主体的・協働的な学習を取り入れていますか。	⑨ グループ学習やペア学習を取り入れている授業が80%以上である。	A	A	A			
IV 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	10 規則正しい生活習慣を身に付けさせていますか。	⑩ 安易な欠席・遅刻・早退をさせない指導を徹底し、学年平均の遅刻率(人/日)を4以下にする。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の生活指導や校門指導等により、多くの生徒は基本的な生活習慣を身に付けていると認識している。 ○ 4月の重大事故をはじめ、昨年度よりも多い件数の交通事故が発生した。 ○ 交通安全指導の徹底に向けて、日常的に安全意識高揚に向けた指導を重ねるとともに、高崎警察署等との外部連携により交通安全講話及び本校独自のマナーアップ運動等を実施した。 ○ 教育相談アンケートを計画的に実施し、いじめの早期発見・解決に向け、組織的な対応を行った。 	交通安全指導では、日々努められていることと思うが、指導についてここまでやればよいというものではない。交通事故0件を目指して、今後もきめ細かな指導をお願いしたい。 いじめの原因となりやすいSNSの利用について、高校生に対してどのような指導をされているのか参考してほしい。また、高校生の考え方を教えてほしい。 4月に重大事故が発生したとのことだが、その後、そのような重大事故発生がなかったのはひとまず幸いである。引き続き、実技指導等を工夫し、指導を継続してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遅刻が多い生徒には、遅刻指導を行い、生活習慣改善の為の指導を実践していきたい。 ○ 引き続き、実技指導や生徒交通委員会への働きかけを活発化する。 ○ 職員研修等を通して、いじめ問題への対応など、より一層の職員間における共通理解を図る。
	11 交通規則を遵守し、交通事故を起こさないようにさせていますか。	⑪ 重大な交通事故を未然に防ぐ。軽微なもの発生件数も5件以内に抑える。	C	C	C			
	12 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑫ いじめ発生件数0をめざした教育活動に取り組み、方がいじめが発生した場合には組織的にその解決を図る。	A	A	A			
V 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	13 生徒の進路意識の高揚に努めていますか。	⑬ 大学見学や職業人講話、進路講演会などの進路行事に積極的に参加したと自己評価できる生徒が、80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な進路行事を通し、生徒の進路意識の高揚を図ることができた。特に、分野別大学模擬授業や医療系分野説明会など個々の進路希望に合わせて聴講することができ、効果的であった。 ○ 多くの生徒が自己の適性を考慮した上で、進路情報の収集に努めている。また、面談の機会も多く設けられ、進路実現に向けて支援が図った。 	T SUBASAプロジェクトの取組が素晴らしい。今後、地域に貢献し、地域を盛り上げてくれる人材を育てていただきたい。 特に、オナークラスの経験を他クラスの生徒にも波及させてほしい。そのことが、将来の進路を考えるキャリア教育に繋がるのではないかと。これからは、高校3年間を見据えた進路行事の計画と実施に取り組み、生徒の進路意識の高揚を図るとよい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年や地域連携課と連携しながら、入学から卒業までの3年間を見据えた進路行事の計画と実施に取り組み、生徒の進路意識の高揚を図る。 ○ 文理選択や科目選択等を生徒が適切に行えるように、進路情報の提供を適宜行い、後悔のない進路選択ができるように支援していく。
	14 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭ 自分の適性を理解し、進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、80%以上である。	A	A	A			
VI 開かれた学校づくりに努めていますか。	15 保護者や地域住民に向けて情報を積極的に発信していますか。	⑮ 保護者の80%以上が学校は積極的に情報を発信していると感じている。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページをきめ細かに更新するとともに、報道機関への情報提供を積極的に行うことにより、地域住民をはじめとする外部の方々に対して、本校教育活動に係る広報活動を充実させた。 ○ 生徒及び保護者に対して、現在導入されているClassiを積極的に活用し、情報発信の強化を行った。 ○ 本校進学を希望する中学生に対しては、授業公開及び学校説明会等を予定通り実施した。県教育委員会が実施した中学生進路希望調査においても、高い志望状況を得ることであった。 	第2回学校評価アンケートにおいて、保護者の未回答が多いことが気になる。学校での取組をもっと保護者にアピールする必要があるのではないかと。 今年度は、地元新聞で本校生徒の活躍の記事を多く見た気がする。また、ホームページもよくできていると思う。 広報活動は重要であり、これからは内容の充実に努め、特色ある学校づくりを目指してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早期の更新は第一に意識し、かつ中学生を対象に行事・部活動・高大連携・国際交流事業など、本校の教育活動の魅力をできるだけ分かりやすく知らせ、また必要な時期に必要な事柄を掲載できるように検討しながら、内容の充実に努めたい。 ○ 生徒の取組だけでなく、父母の会における交通委員会の活動等もHP等で発信したい。
	16 授業公開、学校公開に努めていますか。	⑯ 本校の保護者だけでなく、中学生やその保護者を対象とした授業公開等を実施し、合計で2000人以上の参加を得る。	A	A	A			
	17 地域住民から信頼される高経附の生徒を目指していますか。	⑰ 地域住民や生徒の保護者の80%以上が高経附の生徒や本校の教育活動を評価している。	A	A	A			

※ A 十分達成できた B 達成できた C もう少しで達成できた D 達成できなかった